

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite T380C

ProLite T380R

ProLite T380S

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みに
なり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語



警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- タッチスクリーンモニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

船長

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を！		
	ご使用の際 このようなことは ありませんか ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。 ●キャビネットが異常に熱い。 ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。 ●使用中に異常な音や振動などがある。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用を中止してください 故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

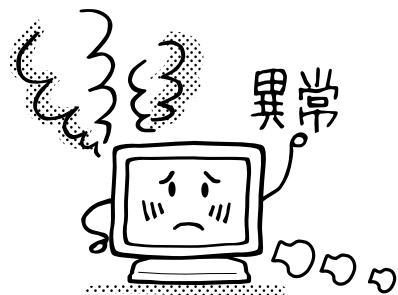
もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	5
特長	6
標準付属品	7
各部のなまえ	8
コンピュータとの接続	9
コンピュータの設定	11
画面の角度調節	11
操作手順	12
調整メニューの内容	13
画面の調整	16
パワーマネージメント機能	18
故障かなと思ったら	19
クリーニング	20
アフターサービス	21
保証書／保証期間について	21
修理サービス	21
オプション部品	21
リサイクル／廃棄について	21
付録	22
一般仕様	22
外形寸法図	22
対応信号タイミング	22
信号入力コネクタのピン配列	23
RS-232Cコネクタのピン配列	23

安全にご使用いただくために

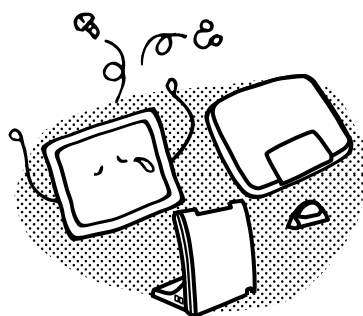
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

警告



万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



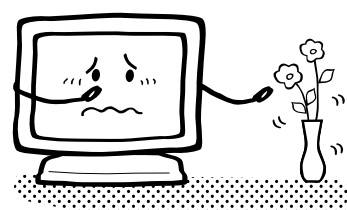
キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。



異物を入れない

タッチスクリーンモニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

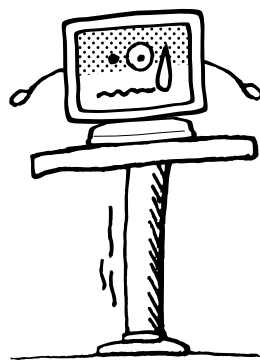


花瓶やコップをタッチスクリーンモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をタッチスクリーンモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。



⚠ 警告



禁止

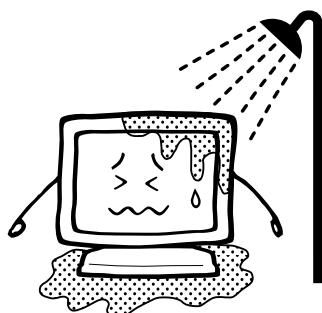


プラグを
抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

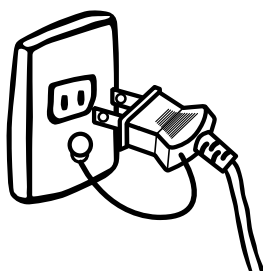
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、タッチスクリーンモニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを
接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

組立
図



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、タッチスクリーンモニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。コードが傷んだらすぐに販売店またはイーヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

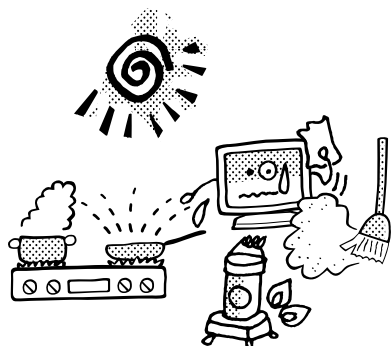


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠ 注意

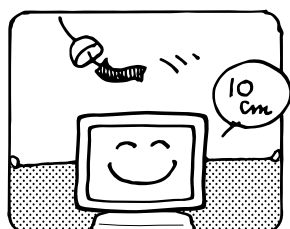


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



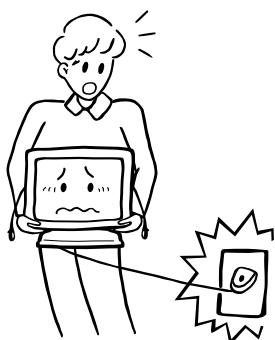
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

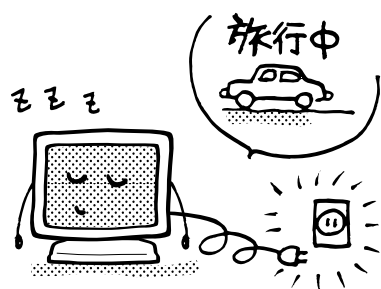
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、タッチスクリーンモニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

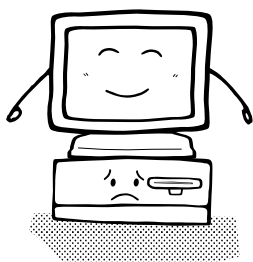
移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠ 注意



プラグを持って抜く

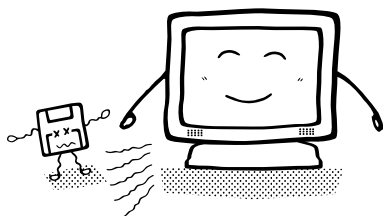
電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



スピーカーにフロッピーディスクを近づけない

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- タッチスクリーンモニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善していきますが、改善されないまま前の画像パターンが固定されてしまう可能性もあります。ご使用の際には十分ご注意ください。
 - ・ 画面の表示パターンを変える。
 - ・ 数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約**40～60cm**はなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。

特長

- ◆ 38センチ（15.0インチ） TFTカラー液晶モニタ
- ◆ 最大1024×768モードをサポート
- ◆ 広視野角/高コントラスト/超高輝度パネル採用
- ◆ エコノミーモード搭載
明るさを抑え消費電力を低減できます。
- ◆ ガンマコントロール機能搭載
動画や自然画を見る際、黒沈みを抑え、メリハリのある画像を表示出来ます。
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能搭載
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応、Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
- ◆ パワーマネージメント機能搭載
- ◆ USBハブ機能/ステレオスピーカー搭載
- ◆ VESA規格（75mm×75mm） 対応：アーム取り付け・壁掛け可能

標準付属品

タッチスクリーンモニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- 電源コード*¹
- D-SUB信号ケーブル
- RS-232Cケーブル*²
- オーディオケーブル
- USBケーブル
- タッチスクリーン（タッチパネル）ドライバーディスク（CD-ROM）
タッチスクリーンのドライバーソフトが含まれています。RS-232CケーブルまたはUSBケーブルでモニタとコンピュータを接続後、インストールしてください。詳細はドライバーディスク内のReadmeファイルを参照してください。
- 取扱説明書/保証書（本書）

補足 *¹ 次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

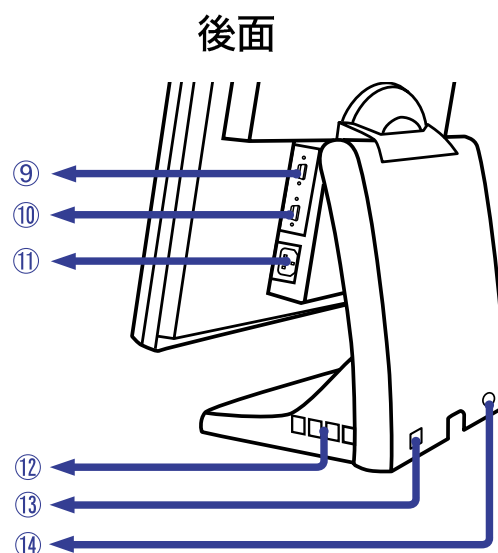
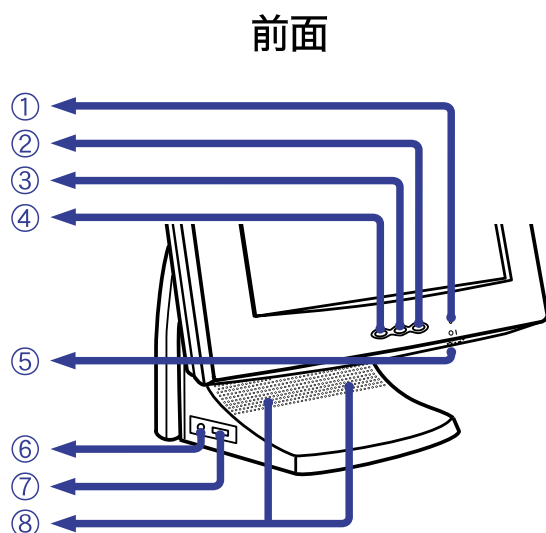
■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合

■ 日本以外の国でお使いになる場合

サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

*² RS-232Cケーブルは、機種によって付属されない場合があります。詳細は別紙一般仕様の通信方式によります。

各部のなまえ



① 電源インジケータ

補足

緑色点灯：通常動作時

橙色点灯：パワーマネジメント時

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネジメントモードになります。

② プラスボタン

③ マイナスボタン

④ メニューボタン

⑤ 電源スイッチ

⑥ ヘッドホン端子

⑦ 音声調整ボリューム

⑧ スピーカー

⑨ RS-232Cケーブル接続コネクタ / USBケーブル（直付け）*

⑩ D-SUBミニ15ピンコネクタ (VIDEO IN)

⑪ 電源コード接続コネクタ (AC IN)

⑫ USB-DOWN

USB対応のマウスやキーボードなどの周辺機器からのケーブルを接続します。

⑬ USB-UP

付属のUSBケーブルでUSB対応コンピュータと接続します。

⑭ 音声入力コネクタ (AUDIO IN)

* 詳細は別紙一般仕様の通信方式による。

コンピュータとの接続

警告 ■安全のため、必ずアースリード（黄／黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

注意 ■信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとタッチスクリーンモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

補足 スタンド部は、「USBコネクタ」付きのコンピュータに接続することによりハブとして機能しますが、コンピュータのOSやBIOSの設定状態によっては、動作しないことがあります。この場合は、まずコンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

① タッチスクリーンモニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。（P.23「信号入力コネクタのピン配列」参照）

補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

③ RS-232CケーブルまたはUSBケーブルをコンピュータに接続します。*（P.23「RS-232Cコネクタのピン配列」参照）

補足 RS-232Cケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

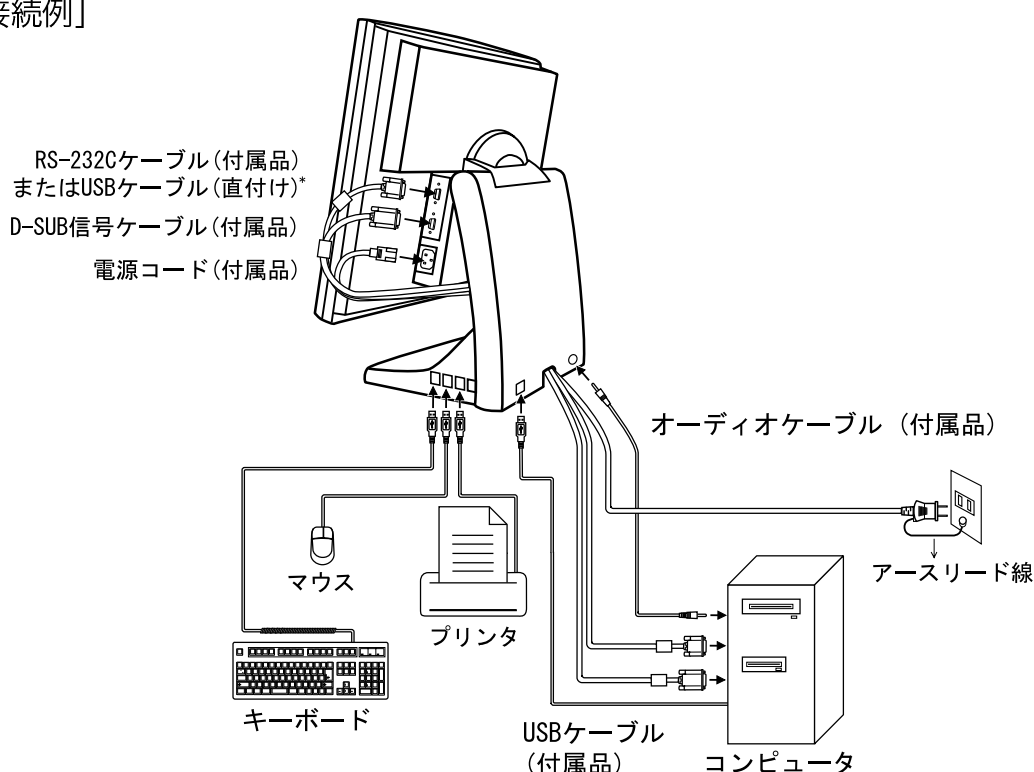
④ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをタッチスクリーンモニタとオーディオ機器に接続します。

⑤ USB機能を使用する場合は、USBケーブルをモニタとUSB対応コンピュータに接続します。

⑥ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

* 詳細は別紙一般仕様の通信方式による。

[接続例]

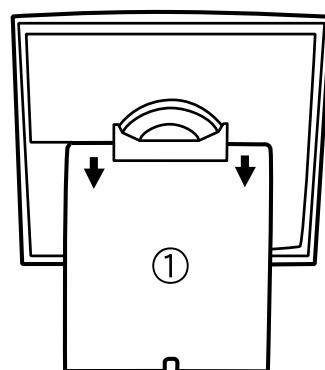


接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機 (DOS/V) IBM	D-SUB ミニ15ピン	D-SUB信号ケーブル (付属品)		D-SUB ミニ15ピン
NEC PC98				
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタ PC98 パーツNo.242Z020-01	D-SUB信号ケーブル (付属品)	
Macintosh*	D-SUB 15ピン	変換アダプタ MAC パーツNo.T985V003-30	D-SUB信号ケーブル (付属品)	

補足 * Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

[ケーブルの配線方法]

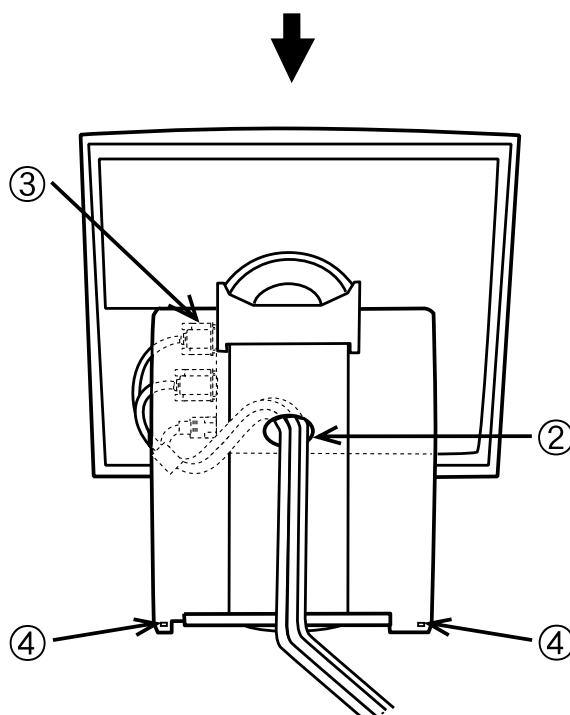
① 後面カバーの上部を手前に引いて外します。



② ケーブルを穴に通します。

③ コネクタを接続します。

④ 後面カバーを取り付けます。下部のフックにかけてから上部をはめます。



コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.22「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XP プラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

補足

■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。

■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

■ 電源投入時の順序

電源投入時の順序はタッチスクリーンモニタ、コンピュータの順に電源スイッチをONして起動してください。

■ ソフトウェアに関する注意事項

タッチしたままシステムを起動すると、タッチスクリーンのソフトウェアやシステムが起動できないことがあります。

コンピュータのBIOSによっては、パワーマネージメントを設定しているとタッチスクリーンのソフトウェアが動作しなくなる場合があります。そのようなときはパワーマネージメントの設定をOFFにしてください。

画面の角度調節



注意

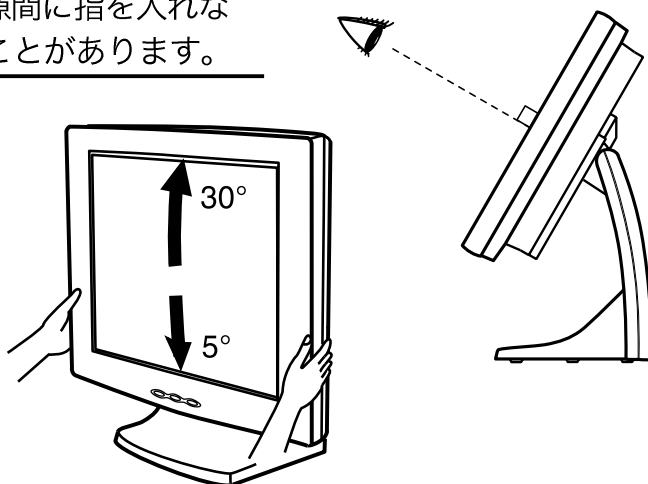
■ 角度調節の際、タッチスクリーン面を押さないでください。タッチスクリーンを破損し、最悪の場合、タッチスクリーンおよび液晶パネルが割れるおそれがあります。

■ 角度調節の際、スタンド可動部の隙間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

■ タッチスクリーンモニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。傾きを調節して、見やすい角度に合わせてご使用ください。前方に倒れない範囲で、角度を調節してください。

■ 角度調節の際はパネルの左右を持って行ってください。

■ 調節範囲は、上方向30°、下方向5°です。

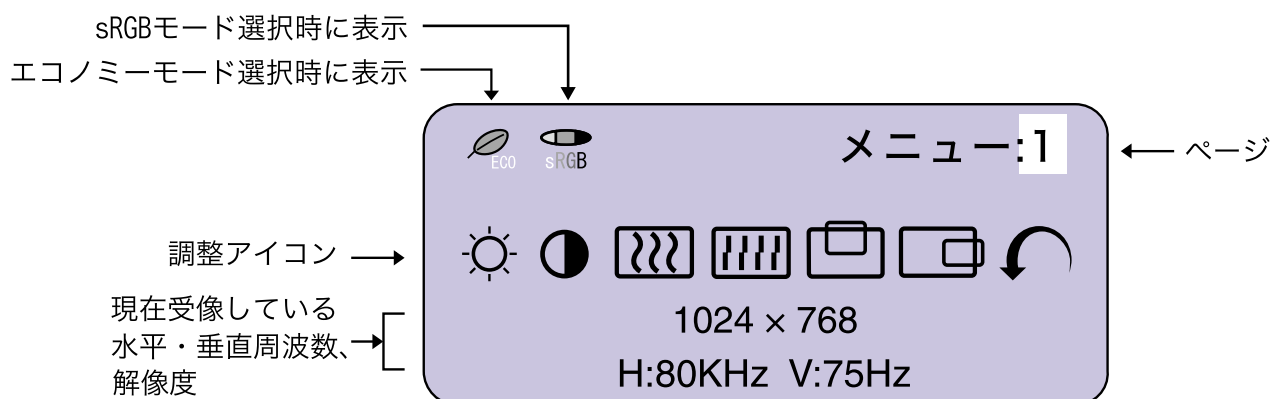


操作手順

P.22の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

- ① メニューボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。プラス/マイナスボタンでページを送ります。

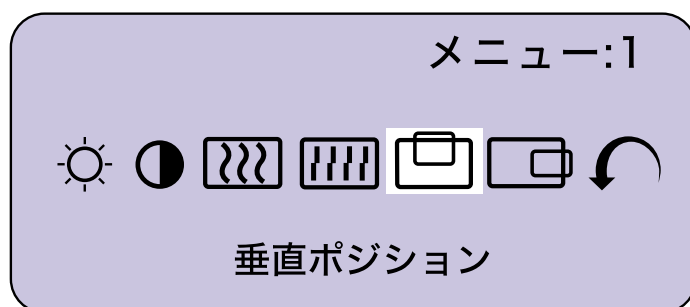


- ② 調整したいアイコンがあるメニュー画面(ページ)を表示し、メニューボタンを押します。カーソルがアイコンの列に移動するので、プラス/マイナスボタンで調整するアイコンを選択します。

- ③ 再びメニューボタンを押し、プラス/マイナスボタンを使って調整や設定を行っていきます。

例えば垂直ポジションを調整したいときは、まずメニュー：1のページを表示させ、メニューボタンを押します。次にプラス/マイナスボタンで  (垂直ポジション)を選択し、メニューボタンを押します。

図4-10



調整画面が表示されますので、プラス/マイナスボタンでお好みの画面に調整します。



補足

- 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。
- オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
- クロック、フェーズ、画面位置の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

言語選択(Language)で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

メニュー：1	
メニュー：1        1024 × 768 H:80KHz V:75Hz	
調整項目	画面の症状/調整ボタン
 ブライツネス*1 Brightness ダイレクト調整	暗すぎる  + 明るすぎる  -
 コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる  + 強すぎる  -
 クロック*2 Clock	模様、文字がにじんだりちらついている  + -
 フェーズ*2 Phase	模様、文字がにじんだりちらついている  + -
 垂直ポジション V-Position	 下によっている  +  上によっている  -
 水平ポジション H-Position	 左によっている  +  右によっている  -
 メニューに戻る Return To Menu	カーソルがメニュー：1に戻ります

*1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライツネスを調整してください。

*2 調整方法および手順については、P.16「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- ブライツネス：メニュー画面を表示していない時にプラスボタンを押します。
- コントラスト：メニュー画面を表示していない時にマイナスボタンを押します。

補足 ブライツネス/コントラスト調整の切り替え

ダイレクト調整中、プラスボタンまたはマイナスボタンを押してから約10秒以内にメニューボタンを押すことにより、ブライツネスとコントラストの調整画面を交互に切り替えることができます。

メニュー：2

メニュー：2

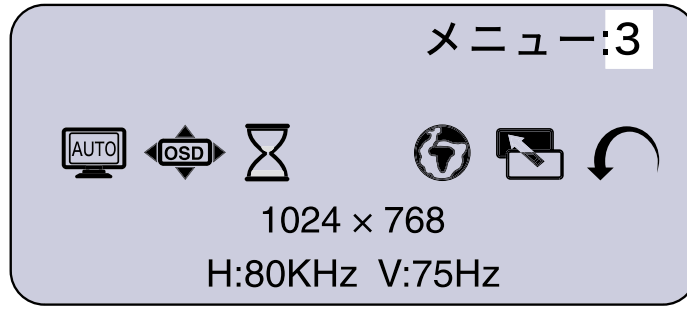


1024 × 768

H:80KHz V:75Hz

調整項目		画面の症状/調整ボタン		
 カラー調整 Color Temp.	9300K	やや青みがかったいるホワイト		
	6500K	やや赤みがかったいるホワイト		
	User	Red	弱すぎる 強すぎる	   
		Blue		
	sRGB	sRGBモードになります。		
補足 ■ sRGBモードでは、コントラスト、ガンマ補正が固定値となり調整できません。 ■ sRGBを選択すると  が表示されます。				
 ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル		
	モード1	ダーク		
	モード2	ハイコントラスト		
 シャープネス Sharpness		1 2 3 4 5	   	
		1~5(シャープ→ソフト)まで設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。		
 エコノミーモード Economy Mode	オフ	ノーマル		
	モード1	バックライトの明るさ10%ダウン		
	モード2	バックライトの明るさ50%ダウン		
補足 ■ モード1またはモード2を選択すると  が表示されます。				
 メニューに戻る Return To Menu		カーソルがメニュー：2に戻ります		

メニュー：3



調整項目		画面の症状/調整ボタン
自動調整*1 Auto Set-up ダイレクト調整	NO	メニュー画面に戻ります
	YES	クロック, フェーズ, 水平ポジション, 垂直ポジションの4項目を自動で調整します。
OSD位置調整 OSD Position		1 2 3 4 5 1~5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。お好みの位置にオンスクリーンを移動させてください。
OSDオフタイマー OSD Off Timer		5~60秒までのOSDのオフタイマーを設定します。
言語選択 Language	English	英語表示
	Deutsch	ドイツ語表示
	Francais	フランス語表示
	Nederlands	オランダ語表示
	中文	中文表示
	日本語	日本語表示
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります
	YES	工場出荷設定に戻します
メニューに戻る Return To Menu		カーソルがメニュー：3に戻ります

*1 調整方法および手順については、P.16「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

● 自動調整：メニュー画面を表示していない時に、メニューボタンを2秒以上押します。

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- 本製品に搭載されている液晶パネルは、1024×768の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1024×768未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1024×768の解像度で使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

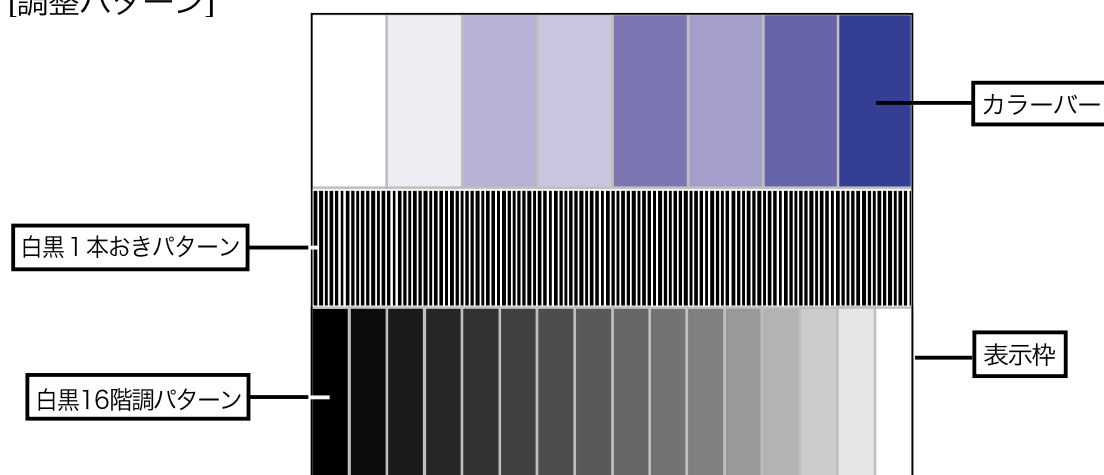
本製品には、画面の調整方法として位置、クロック、フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。

いずれも、弊社ホームページ(<http://www.iiyama.co.jp>)からサポートページへアクセスし、「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

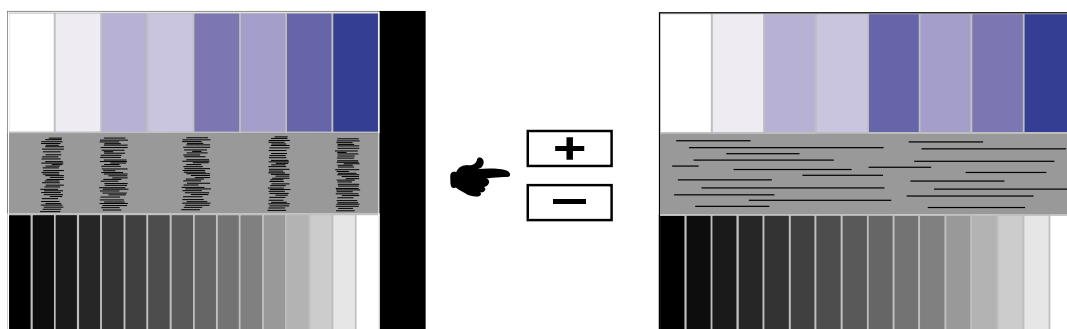
次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

- ① 「画面調整プログラム」を起動します。
- ② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

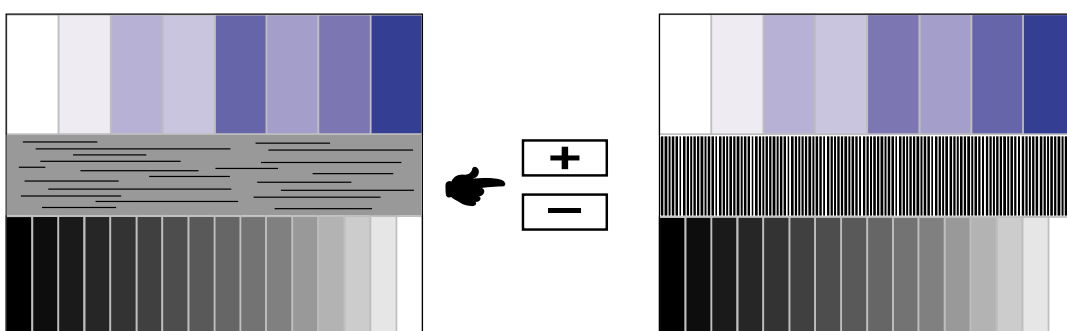
[調整パターン]



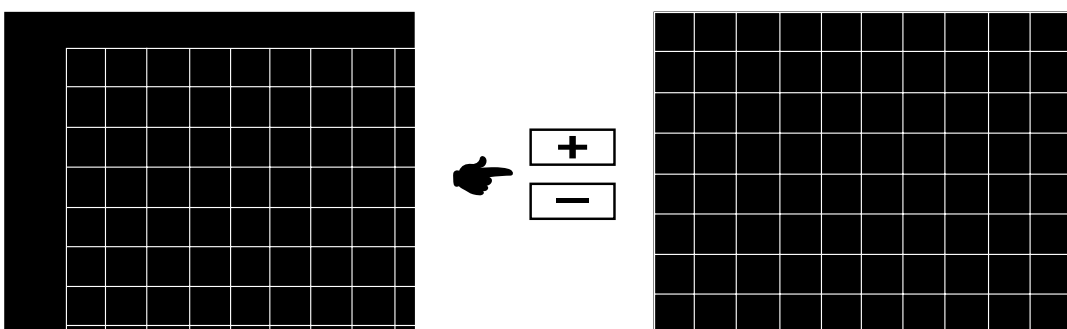
- ③ メニュー画面を表示していない時に、メニューボタンを2秒以上押します。(自動調整)
- ④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。
- ⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



- ⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



- ⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの垂直ポジション，水平ポジションにてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。



補足

- クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平ポジションを交互に調整してください。
- クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
- クロック，垂直ポジション，水平ポジションを調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
- クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。
- フェーズを調整しても画面の一部にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。
- フェーズを調整中、水平ポジションがずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平ポジションにて調整してください。

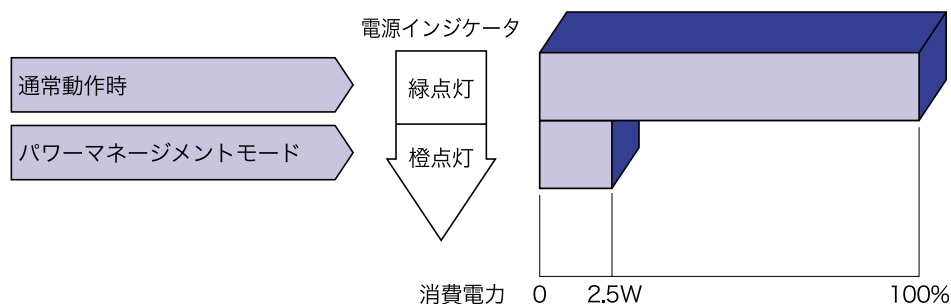
- ⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューのブライトネス、コントラストにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。
- 「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力 2.5W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足

- パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などタッチスクリーンモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。
- コンピュータによっては、パワーマネージメント動作時にタッチスクリーンをタッチしてもパワーマネージメントから復帰できない場合があります。そのようなときはコンピュータのパワーマネージメント機能をOFFにしてください。

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、タッチスクリーンモニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

① 映像が出ない

(インジケータ点灯せず)

(インジケータ緑色)



(インジケータ橙色)

- ☐ 電源コードが確実に接続されていますか？
- ☐ 電源スイッチが「ON」されていますか？
- ☐ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
- ☐ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってください。
- ☐ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？
- ☐ コンピュータの電源は入っていますか？
- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ☐ パワーマネジメント状態ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってください。
- ☐ コンピュータの電源は入っていますか？
- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

② 画面が乱れている



- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ☐ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

③ 画面の位置が片寄っている



- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

④ 画面が明るすぎる／暗すぎる

- ☐ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

⑤ 画面が揺れる



- ☐ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

⑥ タッチスクリーンが反応しない

- ☐ RS-232CケーブルまたはUSBケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ タッチパネルドライバソフトがインストールされていますか？

⑦ タッチ位置がずれる

- ☐ キャリブレーション（アライメント）は正しく行われていますか？

クリーニング



警告

- 万一、タッチスクリーンモニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。



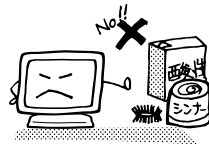
注意

- 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

- タッチスクリーン表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

- キャビネットやタッチスクリーンを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

- キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット

柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

タッチ スクリーン

定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。汚れのひどい場合にはうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。（洗剤を直接タッチスクリーン表面にかけないでください。）

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。
また、光源のバックライトの保証期限は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象になりません。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためタッチスクリーンモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、タッチスクリーンモニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイーヤマサービスセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 10の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル／廃棄については、イーヤマ販売へお問い合わせください。

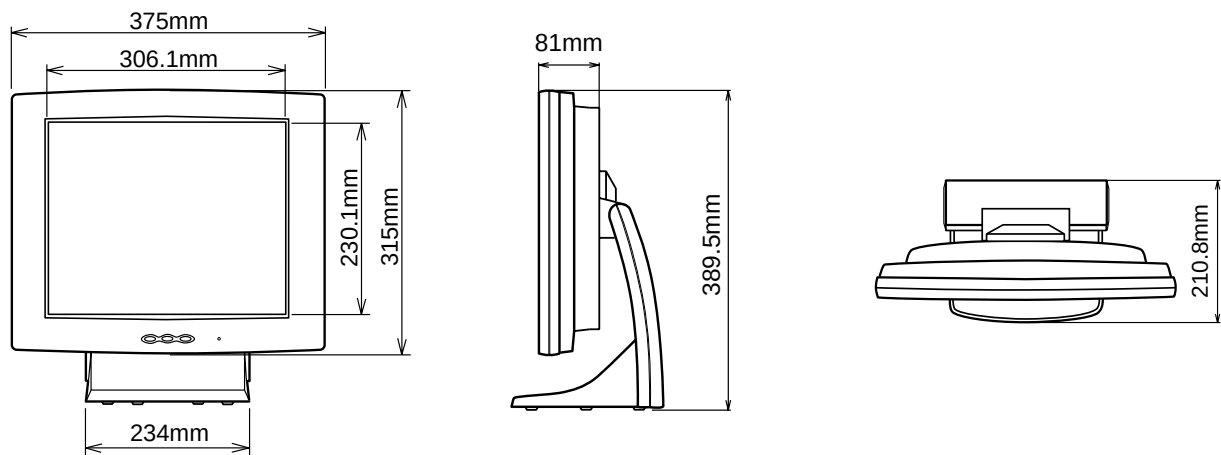
付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

別紙の一般仕様をご覧ください。

外形寸法図



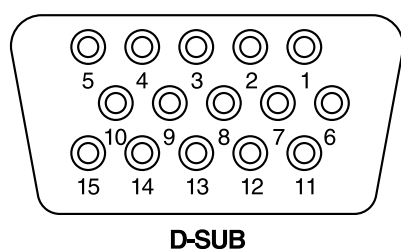
対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz
	SVGA 800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz
		37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz
	XGA 1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
VGA TEXT	640×350 ^{*1,2}	31.469kHz	70.087Hz	25.175MHz
	720×400 ^{*2}	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz
Macintosh	640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz
	832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz

補足 *1 画像の上下方向のサイズはフルスクリーンになりません。
*2 画像の縦横比が4：3でないため、上下方向に間のびした画像になります。

信号入力コネクタのピン配列

■ D-SUBミニ15ピンコネクタ



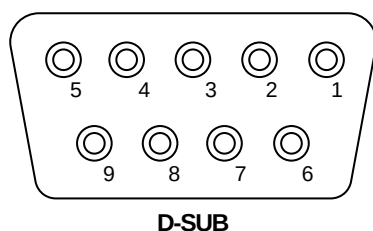
PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	
2	緑ビデオ	10	接地
3	青ビデオ	11	接地
4		12	データライン(SDA)*
5	接地	13	水平同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)*
8	青ビデオ接地		

*VESA DDC 規格に準拠

RS-232Cコネクタのピン配列

通信方式がRS-232Cの場合。

■ RS-232C 9ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	DCD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	
5	接地		

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



植物性大豆油インキを使用しています